

第3回 第7期 瑞浪市老人保健福祉計画等推進委員会

会議録

| | |
|-------|---|
| 日 時 | 平成29年11月21日（火） 午後13時30分～ |
| 場 所 | 保健センター3階大会議室 |
| 出席者 | 会長 勝股 真人 副会長 伊藤 明芳 委 員 江口 研 ・ 佐々木 貴浩 ・ 土本 かおり ・ 加藤 義弘 ・ 小木曾 久榮 ・ 河村 末男 ・ 柴田 幸一（欠席） ・ 工藤 靖子 ・ 塚本 恵子 ・ 太田 實 ・ 棚橋 幸子 |
| 事務局 | |
| 会議の公開 | |
| 傍聴者数 | 0名。傍聴希望者なし。 |

会議次第

1. 開会のあいさつ
2. 会長あいさつ
3. 議 事
 - 第7期 瑞浪市老人保健福祉計画・介護保険事業計画（素案）について
 - (1) 計画の名称変更について
 - (2) 第2回推進委員会での第1章から第4章までの指摘事項及び変更事項について
 - (3) 第5章「介護保険サービス量の見込み」について
4. その他
 - 次回の推進委員会の予定
5. 閉会のあいさつ

1. 開会のあいさつ

事務局：(資料の確認) 定刻になりましたので、第3回第7期瑞浪市老人保健福祉計画等推進委員会を開催します。本日の委員会は、柴田委員は所用につき欠席の連絡をいただいております。今回の傍聴希望はありません。江口委員は遅れてみえると思いますので、よろしくお願いいたします。それでははじめに、勝股会長よりごあいさつをお願いします。

2. 会長あいさつ

会 長：みなさん、こんにちは。午後のお忙しいところお集まりいただき、今回は3回目です。素案を検討していきたいと思います。

3. 議 事

第7期 瑞浪市老人保健福祉計画・介護保険事業計画（素案）について

(1) 計画の名称変更について

会 長：それでは早速、議事に移りたいと思います。事務局から説明をお願いします。

【事務局より説明】

会 長：ありがとうございます。老人が高齢者と変更します。委嘱状は新たに交付されませんが、よろしくお願いいたします。質問等はございませんか。なければ次にいきます。

(2) 第2回推進委員会での第1章から第4章までの指摘事項及び変更事項について

会 長：それでは、事務局から引き続き説明をお願いします。

【事務局より説明】

会 長：追加、差し替え等の説明がありました。質問等はありませんでしょうか。なければ、次にいきます。

(3) 第5章「介護保険サービス量の見込み」について

会 長：それでは、説明をお願いします。

【事務局より説明】

会 長：ありがとうございます。複雑な3年間の推移で、今後3年間を予測します。非常に難しい計算式が、亡くなっていく人と新たに保険料が発生する人と、あろうかと思いますが、その結果として、4,900円から5,100円になるということです。何か質問ありますでしょうか。無いようですので、次にいきます。

塚本委員：金額のことではなく、前回に、第4章で虐待のことが載っていたと思いますが、31頁の3番の権利擁護のところ、虐待が載っていたのではないかと思うのですが、探せなかったです。

事務局：権利擁護の推進のところ、虐待のことに関しても少し触れるように、追加したいと思いますので、追加します。よろしくお願いいたします。

加藤委員：第7期の予算の事業ごとの配分です。最小保険料の5,100円というもの、近隣の市町村と似通ったものになっているのではないかと思います。今回の数字を実績から予測して、この先3か年をはじき出したその計算ソフトも、おそらく全国なのか、かなり共通するものだと思いますので、ばらつきはどこの自治体もないかと思うのですが、瑞浪市においてもそのままやっているのか、瑞浪市独自として重点配分した、あるいはここは過小配分したなど、そのような事情は何か

あったのでしょうか。

事務局：基本的には、厚生労働省が出している全国で統一の見える化ソフトに入力して、国から実績値も入力するので、自動的に算出されるものがベースになっていますが、そのままですと、例えば地域密着型サービスは第6期計画の途中から出ていますので、元が0で途中から制度がはじまり、急に数字が出てきているので、その自動計算では右肩上がりが過ぎて、平成37年度にはすごく増える計算になっていますので、あまりに不自然な伸びは抑えるように調整しております。保険料については、聞いている範囲では、瑞浪市の保険料は他市よりもかなり低くなると見込まれています。県下の第7期の介護保険料は大体6,000円を切りそうところが現状として多い見込みとなっております。

副会長：情報が無いので教えてほしいのですが、平成30年度からの介護報酬の改訂は、どのような内容が示されているのでしょうか。

事務局：まだ示されていません。選挙の関係で遅くなっていますが、およそ聞いている話では、報酬が少し下がるのではないかと。何が下がってくるのかはまだ分かりませんので、次回のときにならないと、その数字や背景は出てこないと思っております。それらが早く出てくれば、サービス量の見込みに勘案したいと思っておりますので、よろしくお願いします。

副会長：まったく分かりませんか。

事務局：分かりません。

会 長：その他何かありませんか。介護の人が離職するということが、そのために新たな人材を見つけてきてトレーニングしないといけません。人が足りない。そのあたりの問題や、介護報酬をまた下げるとなると、ますますいい方向には向かない。国でもう少しやっているとと思うのですが、県の方向では外国の方を入れることに関しては、どのようになっていますか。

事務局：外国の方を入れている事業所は市内にも、特養であります。今後、県や国も力を入れて、外国人職員を入れることは出てくると思われます。そのあたりはこれからもうちょっと、大きく変わってくるかと思いますが、今回の計画に具体的な内容を入れることはしていません。

会 長：ありがとうございます。他には何でも全般的に今日の内容に関して、ないでしょうか。なければ、話し合いをどんどん進んでいきますが、これから希望に満ちたこととは逆なような気がしまして、いかにうまく乗り切っていくかの話し合いになっていくような、時代がそのようになっていって、人口が減って、支える若い人がいなくなってというのが、どうしようもない問題です。それが2025年問題で、団塊の世代が一番多くなってしまふことがネックになっていると思えます。ベビーブームがあって、「産めよ増やせよ」で、私たちの世代がそうであったのですが、それがもう少し、10年くらい続けば、もっと様相が一転していたのではないかとあって、これがなぜ5年で終わったのかということ、いろんな本があるのですが、マッカーサーがやめるようにしたみたいです。5年で日本はベビーブームが終わってしまった。アメリカはそうではなくて、戦後アメリカは10年くらい続いたので様相が違って、もちろん国力や戦争の勝敗の分ですが、その点が面白いところかと思っております。私見ですが、これがずっと尾を引いて、私らがなくなっても続くのではないかと思われます。そのようなことを感じながら、議事を続けていきたいと思えます。次回の予定に移っていきます。

4. その他

事務局：会長ありがとうございます。次回の予定の前に、第2回策定委員会で民生部長より話をしましたが、第6期計画に掲げている小規模多機能の居宅介護事業所の内容と進捗状況について、委員であり宅老所の管理者でもある塚本委員から、説明をお願いしたいと思います。

【塚本委員より説明】

事務局：塚本委員ありがとうございました。まだ他にもよろしいですか。今後のスケジュールを説明します。(今後のスケジュール説明)。それでは閉会の辞を、民生部長の宮本より申し上げます。

5. 閉会のあいさつ

部 長：(あいさつ)

課 長：(閉会宣言)

<閉 会>